

全国統一要求（抜粋）

1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
3. 過積載復活させるな



発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町 4-7-2
電話 03(3360)8021
毎月25日発行
1部 50円

衆議院・総選挙10月27日投票日 改憲阻止・インボイス廃止しよう



過積載根絶に向けて国会質問をおこなう日本共産党・山添拓参議院議員



国土交通大臣宛署名を提出し、本省交渉を実施しました。（5月17日国交省）

政治闘争

裏金国会議員をやめさせよう 国民生活を守る政治の実現へ

全国ダンプ

政府与党の自民党国会議員たちは、派閥パーティー券を大企業各社に購入させ、収益を自らの懐に収める「裏金づくり」をしていました。しかし、より免税事業者も消費税納税を強いられています。申告もおこなわず、脱税行為が公然と認められて、ダンプの味方となる政党の力を大きくする為に必ずつ票へ行きましょう。

燃料・物価高騰が2年以上続いています。10月以降も2千品目の食料品等の値上げが実施されています。燃料価格は高止まりを続けており、政府はトリガー条項の発動など減税措置は実行していません。一方で大企業各社はアベノミクスによる政府支援を受けて、市場空前の利益を確保し

ながら優遇税制や法人税減税を受けています。その結果、大企業全体の内部留保は539兆円以上となり、昨年比で10兆円以上増加しています。なぜ自公政権は、大企業・富裕層への増税をおこなわないのか、その理由は派閥パーティー券を購入してもらわないと「裏金づくり」が実施で

きないからです。ダンプ労働者や国民の生活がどんなに大変になっても、消費税減税やインボイス制度の見直しも実行しようとしません。こんなデタラメな政治は絶対に許されません。

建設産業の末端で働くダンプに対して様々なしわ寄せが、今も現場で押し付けられています。部会に結集する各支部は、使用促進、職場闘争を展開し、ゼネコン各社や道路舗装・碎石会社及びその下請との交渉、公共工事発注当局への要請行動を展開し、組合員の要求を実現しています。

10月スタート

国土交通大臣宛署名 一人5筆以上集めよう

衆議院・総選挙は27日（日）が投票日となっています。私たち国民・有権者が、投票に行つて審判を下さなければ、現在の自公政権を認めることにつながります。

ダンプ労働者の為に国会で奮闘した日本共産党の候補者が各地で立候補しています。戦争反対・憲法9条を守り、消費税減税やインボイス制度の廃止を公約に掲げている野党の力を大きくする為に組合員とその家族、友人・知人に支持を広げましょう。

また国土交通省本省に対しては毎年5月にダンプ労働者の要求にもとづいた国土交通大臣宛署名を提出し、交渉を実施しています。

全国ダンプ部会は、今年も国土交通大臣宛署名の取り組みを10月から開始します。（第一次集約は12月末、第二次集約は来年2月末、最終は4月末期限）各組織では組合員数に比例した目標数（1人5筆）を設定し、各地で集約を広げて下さい。署名用紙は各事務所に送付します。



豪雨災害で流木・土砂等が侵入し、家屋が倒壊（石川県輪島市内）

能登半島で豪雨災害 震災復興を妨げる

自然災害

くり返される自然災害 被災者支援を続けよう

元日の地震で甚大な被害を受けた能登半島を今度は記録的大雨が襲いました。9月21日から24時間雨量が400ミリ超という観測史上最大の大雨によって、復興の遅れが指摘されていた地域での被害が拡大しました。現地では20を超える河川が氾濫し、避難者たちが生活している仮設住宅にも浸水被害が発生しています。さらに各地で土砂崩れが起き、孤立した集落は一時的に100ヶ所以上にのぼり、住民の命と暮らしが再び脅かされる事態に

なりました。1月の地震の際にも各地で発生した土砂崩れの復旧工事を進めていた中で繰り返された被害でした。地震の影響を受けた斜面に大雨が降ったことで、被害が拡大してしまいました。今回の大雨では、県内6カ所の仮設住宅も床上浸水の被害を受けました。建交労では北信越労働支部石川分会の仲間たちが、床上浸水・床下浸水・車両が水没になりました。何とか地震の被害から立ち上がり、お米を作

っていた田んぼが収穫前に川の氾濫で全滅などの被害を受けています。また被災者の生活再建を支えるはずの仮設住宅で起きた今回の浸水被害については、そのリスクは建設当初から分かっていたものでした。今回、被害にあった仮設住宅は、いずれも洪水の浸水想定区域内にあったのです。県は、「平地が少ないことなどから、自治体による用地の確保が難しかった」と説明していますが、天災ではなく、人災と言っても過言では有り



仲間を増やして組合の力を強化し、要求闘争をさらに前進させよう（10月6日大阪市内）

ません。石川県本部では、被害を受けた地域に入り、組合員への支援物資「食料品、飲料水、生活用品」を届けています。全労連・災対連などの支援を受けていますが、家屋への浸水と共に大量の土砂などが入り込み、時間の経過共に土が固まり、泥だし作業が困難な状況が報告されています。生活インフラ復旧・復興の促進と被災者の生活再建に向けて引き続き支援を継続しましょう。

要求闘争と団結を強化 組合員拡大で奮闘しよう

関西ダンプ支部は、10月6日（日）国労大阪会館にて、第51回定期大会を20名の参加で開催しました。

前村委員長が、「画期的と言える委託請負で働く三和サードビス分会のストライキ行動による単価改善の実現」、「高槻砕石分会の一時金20万円の支給に向けた要求実現の闘い」、「第31回ダンプキャラバン行動の取り組み」、「使用促進では、延べ414台が就労」、「大幸工業分会の府労委・未払賃金裁判闘争の和解が成立」などが報告されました。

さらに新しい闘いとしてヤマト運輸の下請けによる未払い賃金裁判が行われている事も報告しました。

議案は、一般経過報告・会計決算報告、新年運動方針・予算案が提案され、役員選挙は定数内のため信任投票が行われ、全員が信任されました。すべての議案が満場一致で採択し、闘う運動方針と大会宣言が確認されました。

最後に10月27日投票の総選挙では「選挙に行つて政治を変える運動」を確認し閉会

としました。

執行部体制は、執行委員長／前村和弘、副委員長／池辺保明・荻田智、執行委員／小園真吾・中村通（再）・星津憲次（新）、会計監査川上秀樹（再）・鳥川太吉（新）となりました。今期で退任した執行委員は鳥川太吉、会計監査細川亨の2名となりました。

主要ゼネコン17社増収 2024年度四半期決算

ゼネコン決算

主要ゼネコン26社の2024年度4月～6月期連結決算がそろいました。業界紙の報道では手持ち工事の施工が順調に進んだこともあり、17社が増収となっています。

（別表参照）

とりわけスーパージェネコン4社は、概ね4千～6千億円の売上高を確保し、年度内では総額1兆～2兆円以上の売上高を見込んでいます。一方、

もう一つの指標となる営業・経常利益については各社に差が生じています。

第一四半期での純利益はスーパージェネコンが百億～200億円以上ですが、鹿島建設は年度内の決算で3年連続の1千億円以上の純利益を得る見込みです。そして前年度までの内部留保は22社で約6、7兆円に達しています。

ゼネコン各社のもうけの源泉は、現場で働くダンプを含めた労働者たちの奮闘に他なりません。近年は劣悪な賃金・職場環境が際立ち、建設産業への新規及び若年層の入職者が減少し、政府は担い手確保に向けた待遇改善の施策取っています。実態はほぼ変わっていません。

私たちは労働組合として、各工事現場をとらえた賃上げ・単価改善の闘いを展開しなければなりません。

主要ゼネコン26社の24年4-6月期連結決算												
	売上高		営業利益		経常利益		純利益		受注高	売上総利益率		
鹿島	6,132 (5.1)	252 (1.5)	259 (△11.0)	174 (△10.0)	3,531 (△27.0)	10.7 (10.3)	27,800 (4.3)	1,320 (△3.1)	1,370 (△8.7)	1,050 (△8.7)	14,100 (△27.5)	10.7 (10.3)
大林組	5,747 (17.9)	153 (268.9)	203 (117.9)	258 (292.1)	3,418 (12.3)	8.4 (6.3)	25,100 (7.9)	930 (17.2)	980 (7.1)	870 (15.9)	16,750 (4.6)	9.1 (8.2)
大成建設	4,570 (39.0)	187 (—)	281 (—)	233 (—)	3,724 (66.9)	7.2 (2.6)	19,900 (12.7)	870 (228.5)	900 (131.3)	650 (61.4)	14,100 (△10.9)	9.0 (4.3)
清水建設	4,010 (△9.1)	17 (△70.2)	60 (△44.1)	24 (△87.1)	3,461 (0.6)	5.8 (5.5)	18,000 (△10.2)	410 (—)	410 (—)	400 (133.0)	10,700 (△42.2)	6.4 (△0.5)
長谷工コーポレーション	2,847 (7.9)	132 (△41.2)	154 (△31.8)	108 (△27.7)	1,194 (7.4)	11.7 (15.1)	11,800 (7.8)	820 (△4.4)	800 (△4.0)	530 (△5.4)	5,800 (8.0)	12.0 (12.8)
インフリアHD (IFRS)	1,783 (9.0)	37 (△49.5)	34 (△54.8)	27 (△50.9)	757 (△29.9)	10.3 (13.0)	8,399 (5.9)	590 (14.6)	590 (15.6)	384 (17.9)	4,650 (2.9)	13.2 (14.9)
五洋建設	1,543 (21.3)	72 (8.0)	73 (7.1)	52 (9.3)	1,079 (18.1)	8.5 (10.0)	6,550 (6.0)	325 (11.5)	300 (10.2)	200 (11.9)	6,205 (4.7)	8.5 (8.5)
フジタ	1,269 (△7.8)	15 (△63.3)	43 (26.4)	32 (42.7)	1,194 (1.6)	6.4 (4.3)	5,600 (△5.3)	230 (3.9)	213 (2.2)	133 (5.5)	5,040 (△12.3)	11.1 (6.4)
三井住友建設	1,118 (0.6)	16 (△61.2)	14 (△64.4)	7 (△70.5)	500 (△33.8)	6.3 (9.9)	4,550 (△5.1)	125 (47.0)	80 (27.2)	45 (12.3)	1,800 (△25.2)	8.0 (5.9)
戸田建設	1,117 (△2.3)	△1 (—)	24 (△46.7)	37 (93.5)	892 (△13.4)	8.8 (9.0)	6,000 (14.8)	300 (67.5)	355 (39.3)	270 (67.7)	5,400 (3.2)	11.5 (11.0)
熊谷組	1,026 (13.0)	4 (9.9)	3 (△28.9)	1 (59.3)	810 (24.2)	5.7 (6.2)	4,622 (4.3)	150 (18.6)	154 (18.1)	101 (21.4)	3,480 (△7.3)	8.2 (7.5)
西松建設	841 (△0.1)	46 (361.7)	48 (188.3)	32 (203.4)	1,036 (197.8)	8.4 (5.7)	3,450 (△14.1)	180 (△4.4)	176 (△10.1)	124 (0.1)	4,300 (22.4)	9.9 (7.8)
安藤ハザマ	837 (2.3)	29 (8.6)	34 (10.8)	22 (15.3)	732 (19.7)	10.0 (10.2)	4,062 (3.1)	229 (23.2)	221 (19.2)	152 (9.5)	3,750 (6.8)	12.1 (11.1)